

3 富士山勉強会開催報告

ふじさんネットワークでは、昨年度に引き続き、「富士山勉強会」を2回開催しました。
なお、当日配布した資料が必要な方は、事務局まで御連絡ください。

第1回富士山勉強会(富士山南麓エコツーリズムセミナー)

富士山への訪問者が益々増加することが予想され、またエコツーリズム推進法が成立した今、環境保全に配慮した観光振興の重要性が増してきています。

地域で活動する方の声も交えて、富士山南麓でエコツーリズムを推進していくための課題や推進方法等について考えました。

日時：平成20年1月25日(金)13時30分～16時

会場：沼津労政会館3階ホール(沼津市高島本町)

主催：静岡県、ふじさんネットワーク

基調講演 「世界遺産の保全とエコツーリズム」

講師：高梨洋一郎氏

(NPO法人日本エコツーリズム協会理事、サイバー大学世界遺産学部教授)



- 世界遺産とは観光のブランド化。しかし、反面多くの人が押し掛け、遺産が保全しきれなくなってしまうケースもある。
- 環境と観光のバランスをうまく成り立たせることが必要。まず、従来型のマストゥリズムを、持続可能なツーリズムや自然に配慮したツーリズムに修正していくことが必要。
- 富士山の世界遺産登録を見据え、これから環境と観光のバランスをどうするのがキーポイントである。

パネルディスカッション

■ テーマ 「富士山南麓のエコツーリズムを推進するために」

■ コーディネーター

山田辰美氏 (富士常葉大学環境防災学部教授、ふじさんネットワーク副会長)

■ パネリスト

高梨洋一郎氏

佐藤尚吾氏 (富士山の自然を守る会会長、富士宮市在住)

米山千晴氏 (有限会社東富士山荘代表取締役、小山町在住)



- 名所を訪れるような感覚の訪問者が見受けられるなど、訪問目的が多様化している。10,20年先を見据え、富士登山を秩序ある登山にしたい。
- 富士山の保全を図るとともに地域活性化を考えるため、エコツーリズムを推進する必要がある。
- 地域の人達が自分達の宝を見つめ直し、誇りを持つこと。この宝を大事にする意識をもち、保全・管理をしっかりすること。まず宝探しをする所からスタートである。
- 多くの活動団体があるが、つながりがないので有機的な連携が必要。
- 南麓はこれからがエコツーリズムのスタート。北麓などの先進地から良・悪問題を事例とし取り組めば良い。

■第2回富士山勉強会

平成16年に有人気象観測の幕を閉じた富士山測候所で平成19年夏、NPOによる環境観測が始まりました。このNPOの活動状況についての話題と富士山と人間の活動に関する歴史に触れるために戦国時代の武士との関りについて勉強しました。

日 時：平成20年2月24日(日)13時30分～16時
会 場：日本大学国際関係学部 15号館1523教室(三島市文教町)
主 催：ふじさんネットワーク

講演Ⅰ 「2007年夏季の富士山測候所の利活用について」

講師：土器屋 由紀子氏
(江戸川大学教授・NPO法人富士山測候所を活用する会副理事長)



- 平成19年7月10日から9月5日まで常時3人のスタッフ体制で観測・研究を実施した。
- 通常は商業電力を使用するが、雷予測時には発電機に切り替えたり、落石処理等の建物周辺の安全対策、トイレ維持管理など山頂特有の苦勞があった。
- 気象庁が観測していた頃にはなかった「高所医学」、「宇宙線科学」などの研究が行われた。
- 今後の課題として、通年観測、建物関係の老朽化、運営資金の調達などの解決が必要。
- 平成20年夏もオープンする。現在研究を公募中。

講演Ⅱ 「富士山と戦国武将」

講師：小和田 哲男氏(静岡大学教授)



- 足利氏、後北条氏、今川氏、武田氏、織田氏及び徳川家康と富士山とのかかわりについての講義。
- 今川義元は村山修験を保護したが、この修験山伏は謀報活動を努めていた可能性がある。
- 武田氏が富士山周辺を狙ったのは、富士山ろくは金鉱床の宝庫であること、海からの交易ルートが欲しかった、本宮浅間大社への信仰、富士山への愛着などが考えられる。
- 徳川家康が駿府に居城を建てたのは、大阪方への牽制に都合がよい場所であり、街道、居城、富士山が並ぶように見える場所であったからと考えられる。